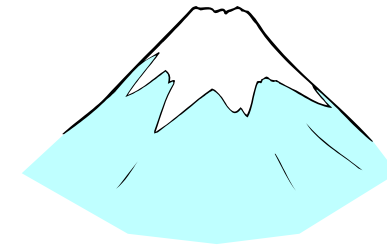


# 第4回静岡県歯科技工学術大会

\*\*\*生涯研修自由課程予定\*\*\*

プログラム



日時 平成25年3月10日(日) 10時～16時  
会場 グランシップ 映像ホール

静岡市葵区池田79-4

JR 東静岡駅徒歩2分

主催 (社)静岡県歯科技工士会

会員 無料

未入会者 10,000円

※ 当日入会者は会費免除になります。

日 程

受付 9:30

開会 10:00

演題 10:30～12:00

メインテーマ『明日から使える歯科技工』

過去・現在の技工と将来の技工～情報と戦略と戦術～

\*\*\*昼食 (12:00～13:00)\*\*\*

13:00～16:00

閉会 16:00

※当日、大信貿易株式会社様のご協力で開催・説明ブースを設けて頂く事になりましたので参考にして頂ければ幸いです。

← 二つ折りにして御使い下さい。

## 演題

### 「過去・現在の技工と将来の技工」

#### ～情報と戦略と戦術～

(公社)日本歯科技工士会認定講師

木村 健二 先生



#### 《抄録》

CAD/CAM は今や私たち歯科に携わる者にとって必要不可欠なツールとなりました。センター方式に用いられる大量生産用大型機器、技工所向けの汎用機器、そして医院向けの簡便機器というように、特徴を明確にして進化を遂げ、歯科治療、歯科技工の概念と手法に革新をもたらし、劇的な変化を生み出しました。

それに伴い、ジルコニアのみならずチタン、コバルトクロム、ジルコニア、ニケイ酸リチウムといった新素材の加工が可能となりました。では、実際にどのように日々の臨床にCAD/CAMを取り入れていけばよいのでしょうか？機器を導入しさえすれば今後の道が拓けるのでしょうか？答えは否、であると考えます。

CAD/CAM の導入をお考えの際は、自社の規模と特徴を把握し、自社の力を最大限に発揮できる利用方法を熟慮するのが良いと考えます。私は技工所向けの汎用機器の特徴を最大限に生かし、時にはアウトソーシングのシステムを活用し、患者様とドクターに最も適した方法と素材をご提供できるよう努めていきたいと考えております。近年、ジルコニアフルクラウンに対応できる素材及び機器が出てきており、大きな注目を集めています。この理由として、近年の貴金属価格の高騰、陶材焼付金属冠や陶材焼付ジルコニア冠の前装材チッピング、ハイブリットセラミックスの着色や摩耗等、これまで存在してきた素材物性による悩みを解消する補綴方法として注目を集めているのだと考えられます。当社においてもフルジルコニア症例の

割合は増加しています。

しかし、忘れてはならないことは、人体にとって何が一番良いのかということです。今回は、技工士として時代変化に柔軟に対応していくためにはどうしたらよいのか、悩みながら歩んできた28年の経験をふまえてお伝えします。

#### 【論文】

- ・「IDS 2009 にみた CAD/CAM の現状とこれから」歯界展望 2009 年
- ・「印象採得したインプラント作業模型の精度 3 種類の製作方法の比較」日本口腔インプラント学会誌 2009 年
- ・「CAD/CAM システムによるセルコンオールセラミック修復の展望」日本歯科技工学会誌 2010 年
- ・「インプラント上部構造の適合精度を実現するために必要な条件」(社)日本歯科先端技術研究所学会誌 2010 年

#### 【学会発表】

- 2012 年 1 月 日本口腔インプラント学会 第 29 回九州支部学術大会(宮崎県)
- 1 月 第 200 回学術臨床放談会(岡山県)
- 4 月 日本歯科 CAD/CAM 学会
- 9 月 第 42 回日本口腔インプラント学会(大阪府)
- 10 月 2012 年口腔修復技術交流大会(北京大学)

#### 【略歴】

- 1980 年 日本大学歯学部附属歯科技工専門学校 卒業
- 1984 年 (有)協和デンタル・ラボラトリー設立
- 1999 年 ITI(straumann)上部構造認定ラボ取得
- 2002 年 日本大学歯学部附属歯科技工専門学校兼任講師
- 2004 年 日本歯科技工学会認定士
- 2005 年 デンツプライ三金公認セルコンインストラクター
- 2009 年 (社)日本口腔インプラント学会認定インプラント専門歯科技工士
- 2009 年 日本歯科審美学会認定士